



うちだ もりえ
2年 | 内田 森恵さん [宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 出身]

■ 中高生時代の経験を糧にAOで挑戦!

中高生時代を過ごした出身校は、過疎・高齢化が進む五ヶ瀬町の地域活性化について考えようという活動が活発でした。地域の方と触れ合い、調査研究した結果を発表したり。そんな中で私は「まちづくり」に興味を湧き、もっと勉強したいと思うようになったんです。鳥大の地域政策学科はそれが学べる最適な環境と思い、自分のやってきたことが生かせるAO入試で目指すことにしました。入学志願票の文章は推敲に推敲を重ね、何回書き直したか分からないぐらい。自分らしさ、熱意がしっかり伝わるようにできるだけ具体的に書くことに注力。鳥取のことも調べ、まちづくりの具体的な提案まで書き込みました。

■ 地域政策に関する自分の考えを深めよう

1次選考は福岡で受験。鳥大までの交通費は結構かかるのでとても助かりました。私の場合、1次・2次を通じて面接練習をしっかりとやったことが成功の秘訣に。いろんな先生方に相手をしていただき、考えなくても自然に口から言葉が出るくらいまで練習。それが自分の考えをまとめる訓練になり、課題論文やグループディスカッションにも応用できました。あと、新聞記事やニュースを毎日チェックして地域政策に関する知識を深めておくことも大事ですよ。

2年次には「地域調査実習」があるので楽しみ! 集落に出向いて住民の方のお話を聞き、その地域のリアルを知りたい。今はそれに向けた座学に励んでいます。

■ 平成28年度AO入試で求める人物像

募集人員(予定): 6人

【趣旨】多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、自ら学ぼうとする学習意欲を持つ人を、様々な観点から総合的に評価するためAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
- 地域の様々な資源を効果的に活用し、地域を発展させるための提言ができるようになりたい人



心温かく親切な人柄が好き

アパートの大家さんやバイト先の方がおすそ分けを下さったり、スーパーでは見知らぬおばあちゃんが「元気?」と声を掛けてくれたり。毎日、鳥取の人の優しさに支えられています。

平成27年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成27年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成28年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「地域の個性をふまえた地域づくり」についての講義(75分)を行い、その後、受験者との質疑応答(15分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングの内容を要約するもの(300字以内)と、受験者の身近な地域を対象に、その地域の個性を整理し、それに関連付けた受験者の考える具体的な地域づくりを論述するものでした(600字以内)。
グループディスカッション	ワールドカフェ方式を採用し、受験者は4名ずつ4グループに分かれて1ラウンドを20分間とした討論を行い、メンバーを入れ替えながら4ラウンドの討論を繰り返して、議論を深めました。テーマはスクーリングの内容を踏まえたもので、ラウンド毎に変更しました。
個人面接	2名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。